

**PRESS RELEASE**

<https://www.okiu.ac.jp>



学校法人 沖縄国際大学

事務局広報課

TEL : 098-893-7629(直通)

OKIUPR-2025-003

報道関係者 各位

2025年4月14日(月)

沖縄県内最古級の貝製品、牙製品の出土について  
沖縄国際大学考古学研究室による普天満宮洞穴遺跡発掘調査成果

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より沖縄国際大学の教育・研究活動について格別のご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

この度、考古学研究室による普天満宮洞穴遺跡第3次発掘調査成果の説明会を開催いたします。普天満宮は琉球国王も参詣したとされる由緒ある神社で、琉球八社のひとつとされています。考古学研究室では、2022年度(第1次)から普天満宮社殿背後の洞穴内を発掘調査しており、2023年度(第2次)には約3万年前の人類活動の痕跡を確認することができました。2024年度(第3次)は発掘トレンチを拡大、さらに約3万年前の層よりも下層を確認し、同時に2次調査の遺物整理を進めました。その結果、①2孔貝鏃が出土したこと(約8000年前か)、②赤色条線文系という古い土器(約11000~9000年前)が出土したこと、③約18000~17000年前の層から琉球列島初の古いイノシシの牙製品が出土したこと、④約18000~17000年前の層から出土したイノシシ骨にカットマークがあること、⑤約29000~17000年前の層から、サキタリ洞遺跡発見の扇形貝器と同様な製品が出土したこと、⑥人が加工したと考えられる海産二枚貝の破片は、約33000~17000年前の層まで出土すること、⑦大小規模の炉跡が約33000~32000年前、約18000~17000年前に集中すること、⑧リュウキュウジカなどの絶滅は、約33000年前よりも以前であること、など多数の成果がありました。シカ類絶滅の年代に迫るデータ、普天満宮洞穴における人類の活動の強弱、サキタリ洞遺跡のような貝文化の追証、琉球列島におけるイノシシ狩年代の遡及と琉球列島初の更新世牙製品の発見、藪地(ヤブチ)洞穴遺跡やティーラガマ遺跡などのような洞穴における古相土器の存在、2孔貝鏃出土によって想定される徳之島下原洞穴遺跡とのつながりなど、県内でも最古級である人類活動の年代的な変遷と具体像が見え始めており、琉球列島の人類史を考えるうえで、極めて重要な遺跡のひとつであることが再確認されました。今後も研究・分析を継続し、その実態を解明する予定です。

報道関係者の皆様におかれましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、取材していただけますと幸いです。

記

1. 日時：令和7年4月28日(月)10時00分~12時00分 **※情報解禁は説明会終了後となります。**
2. 場所：沖縄国際大学 5号館416教室
3. 説明者：沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科 新里貴之 t.shinzato@okiu.ac.jp

以上、よろしくお願いいたします。

ご参加可能な場合は、大変お手数ですが4月24日(木)までにその旨ご連絡くださいますようお願いいたします。(FAXでのご連絡の場合は、下記ご記入の上、ご返信ください。FAX:098-893-0015)

謹白

御社名：

御出席者名：

送信枚数1枚

【送信元】

学校法人 沖縄国際大学 事務局広報課 担当：笹田 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目6番1号

TEL : 098-893-7629(直通) / FAX : 098-893-0015 / E-mail : pubchr@okiu.ac.jp